伏見稲荷大社シリーズ 特典PDF

稲荷信仰 全国3万社まとめ

なぜ稲荷神社は日本一多いのか

— 🛕 —

▶ 稲荷信仰の規模

約30,000
社
全国の稲荷神社の数。日本の神社の中で最多

1,300年
以上
711年創建から続く信仰の歴史

約3万社
すべての総本社
伏見稲荷大社が全国稲荷神社の頂点に立つ

▶ 稲荷信仰が広まった歴史

711年（和銅4年）
伏見稲荷大社の創建
秦伊呂具が稲荷山に稲荷神を祀る。農業・食物の神として信仰が始まる。

平安時代
朝廷・貴族の信仰を集める
弘法大師（空海）が稲荷神を東寺の鎮守神として祀る。朝廷から正一位の位を授かり格式が上がる。

鎌倉〜室町時代
武家社会への広がり
武将たちが戦勝祈願・領地繁栄のために稲荷神社を勧請。全国の城下町に稲荷神社が建立される。

江戸時代
商人・庶民への爆発的普及
商売繁盛のご利益が商人に広まる。江戸では「伊勢屋・稲荷に犬の糞」と言われるほど稲荷神社が乱立。

現代
約3万社・日本最多の神社に
農業・商売・開運・縁結びと幅広いご利益で現代でも圧倒的な信仰を集める。

▶ なぜこれほど広まったのか

理由	内容
ご利益の広さ	農業→商売→開運→縁結びと時代に合わせてご利益が拡大。誰でも祈れる神様に
勧請の容易さ	稲荷神は分霊（勧請）しやすく、全国どこでも祀ることができた
庶民との親しみ	難しい教義がなく、キツネ・朱色の鳥居というわかりやすいシンボルで親しまれた
経済との結びつき	商売繁盛のご利益が江戸の商人文化と合致。企業・店舗の守り神として定着

✦ 会社や家の中にある「お稲荷さん」とは？

日本の企業・家庭の敷地内に祀られている小さな祠の多くは稲荷神社。豊田・松下・住友など大企業も社内に稲荷神社を持つ。身近な「お稲荷さん」は全国3万社の稲荷信仰の末端にある。